発行：令和２年１２月

かわら版

NO. １４

桑名市教育委員会イメージ
キャラクター「くわっぽ」

多度地区小中一貫校整備事業

地域協議会で『基本計画（案）』の協議を行いました

１０月１８日（日）第３回地域協議会、１１月７日（土）第４回地域協議会を開催し、これまでの、ワークショップ・懇話会等でいただいたご意見と、環境検討会・学校施設検討会で話し合われてきた内容を基に作成した「基本計画（案）」についてご協議いただきました。

第３回の冒頭では、両検討会及び各懇話会（未就学施設保護者・小中学校保護者代表・自治会代表）のこれまでの内容及びご意見をそれぞれの代表者からご報告いただき、地域協議会委員で共有していただきました。

＜各会からの報告内容　一部抜粋＞

環境検討会

- 小中一貫校になった時、子どもたちにとって教育効果がある活動として残していきたい活動は何かという話し合いをした。
- 小中義務教育の９年間を通して、身近にある自然を大切にでき、人・地域との出会いや触れ合いを大切にする子どもに育ってほしいという願いが出された。

学校施設検討会

- 特別支援が充実した施設・新しい生活様式にも対応できる施設・働く教職員にとっても魅力ある施設になるよう要望した。
- ９年間の学びと育ちをつなぐ学校なので、今の子どもたちの発達段階にあった枠組みについて今後も協議していく。どの子も通いたくなる学校にしたいという思いを伝えた。

未就学施設保護者懇話会

- ４回の懇話会を行い、学童保育・登下校の安全確保・スクールバスの運行等について意見交流した。
- 子どもたちが環境の変化にうまく対応できるように、開校までに教育活動の中で子どもたちの交流を図っていくことを検討していると聞くことができた。

小中学校保護者代表懇話会

- 現在の進捗状況を確認し、子どもたちのために十分な学校用地を確保できるように依頼した。
- 施設についての要望や、９年間を通して行われる教育活動を子どもたちに合わせて枠組みした 4-3-2 などの学年区分についても話を聞くことができた。

自治会代表懇話会

- 子どもたちの安心安全に関して、通学路・スクールバス運行等についての意見が出された。
- 地域コミュニティの存続や跡地利用についても今後どうなるのか心配だという意見が出た。

第３回　第４回　地域協議会の概要

第３回では、基本計画（案）の『計画の目的』『基本コンセプト』『計画地の概要』『施設規模に関する条件』についてご協議いただきました。グループワークでは、「教育の中身について、地域には小学校の統合だけで良いのではという声がある中、一貫校では子どもの発達段階にあった９年間を通した教育をするという意義を分かりやすく示すと良い」「９年間を６－３以外の学年区分とすることで小と中の接続をスムーズにできるメリットを出してはどうか」「大切にしたい視点として地域とのつながりを加えてはどうか」などのご意見をいただきました。

＜各グループの協議の様子＞

第４回では、基本計画（案）の『学校づくりの考え方』『施設基本計画』『開校に向けたスケジュール』『今後の検討内容』についてご協議いただきました。この部分は、基本設計につながる内容となるため、より具体的な話し合いとなりました。「学校づくりの考え方についての方向性は良い」「敷地の形状や高低差を活かした校舎ということだが、子どもたちの安全面への視点・配慮も入れてほしい」「新しい生活様式にも対応できるなど、教室は余裕を持った空間整備を行うとよい」等のご意見や、「4－3－2 など新たな学年の枠組みの有用性など、小中一貫校の魅力についてどんどん発信すべき」「開校までに子どもたちをつなぐことなど、令和７年度までの準備についても今後しっかり議論をすべき」といったご意見もいただきました。

今後、地域協議会でのご意見を、環境検討会・学校施設検討会にお示しし、再度ご協議いただきます。それらすべてのご意見等を基に、１２月１９日の第５回地域協議会にて再度ご協議いただく予定です。

＜地域協議会　鈴木委員長の講評＞

この 10 月～11 月に２回の地域協議会を開催し、小中一貫校の基本計画（案）についてグループワークによる熱心な議論がされました。新しい学校の骨格となる考え方は、「縦のつながり」と「横のつながり」というキーワードで示され、義務教育９年間の系統的な教育活動、そして地域と学校との連携協力の具体的目標が記述されます。とくに、「９年間の学年の枠組について6-3から4-3-2を目指すべき」との意見を得られたことは、小中一貫校を推し進める上で大きな前進で、多度地区の子どもたちの成育環境が縦糸と横糸で編み上げられようとするプロセスに立ち会うことができました。

第２回地域協議会での「小中一貫校について保護者にわかりやすく伝えられると良い」というご意見から、保護者向けに【小中一貫校に向けて】のパンフレット（右図）を作成いたしました。１２月下旬に学校・就学前施設を通じて配布する予定です。

＜保護者向けパンフレット＞

小中一貫教育講演会（元呉市立蒲刈中学校校長二宮肇美（にみやはつみ）氏）

10 月 24 日（土）、多度まちづくり拠点施設講堂にて、「子どもたちのための小中一貫教育」と題した教育講演会を開催いたしました。

これまでに保護者・地域の皆様より「小中一貫教育とはどんな教育なのか」「施設一体型小中一貫校になることで、何がこれまでと違うのか」というご質問を多くいただいたことから、小中一貫教育についてより深くご理解いただく機会として、開催したものです。

ご講演いただいた二宮氏は、日本で先駆的に小中一貫教育の研究を始めた広島県呉市において、およそ 20 年間にわたって推進されてきた方です。小中一貫教育は、子どもたちの自尊心を育てていくのに有効であるなど、ご自身の経験に基づいた具体的なお話を多数聞かせていただくことができました。

＜主な質疑応答の概要＞

Q：呉市では一貫校開校時に、子どもたちに戸惑いや不安・動揺は起きなかったか。

A：子どもたちは、さほど動揺はなく、異学年交流などを喜んでいた。動揺したのは、先生たちであった。準備の期間があるので、保護者と学校が情報を密にかわして様々な不安を解消する手立てをとっていくとよい。

Q：小中一貫と小中連携の違いは？

A：小中連携は以前より行っている。しかし、教職員の情報交換の場が少なく一過性になっている。小中一貫は教育課程をしっかり組むことで、９年間を通した教育のつながりや積み重ねができる。小中一貫教育に取り組んだからといって全ての課題が解決するわけではないが、９年間を見通した視点で先生みんなが取り組むことで、少しでも良い方に向かうことができる。

Q：6-3 を 4-3-2 の学年区分にすると良くなると聞くが本当か。

A：6-3 の区分が良くないということではない。現行では小学校の６年間は学級担任制、中学校の３年間は教科担任制を基本としているが、子どもたちの発達がおよそ２年早まってきている中で、6-3 の区分での課題も出てきているのではないか。4-3-2 の区分は、小学校から中学校へ接続する思春期の教育を大切にする考え方があり、小と中の先生で学びをつなぐ、全国の小中一貫校で主流となっている学年区分である。

Q：先生たちが忙しくなって、子どもたちに目が行き届かなくなるのではないか。

A：過渡期には確かに忙しくなる。しかし、小中一貫校でなくても、課題は次々にやってくる。準備する段階から、小・中学校の教職員が協力して行うことで、課題を早く見つけ出し、問題が小さいうちから手立てを講じていくことで解決方法が見つかり、落ち着いた学習環境を整えることができる。結果として先生たちの負担が少なくなる。

＜保護者の感想　一部抜粋＞

- 「小中一貫教育は目に見えないが、子どもの姿に現れる」というのはなるほどと思いました。成果がみられるのには長い時間がかかることもあるようなので、保護者としてもゆったり構えないといけないのかな（先生たちのチャレンジに口を出さないとか）と感じました。（何か特別な学習方法ではないのですね。）
- 小学校、中学校の交流、専門の教科担任に小学生も教えてもらえるのは凄く意義があると思いました。不登校の子が多い時代、色々な年齢の子と交流する事によって、狭い世界から変わる事が出来るかもしれませんね。
- 少しですが、考え方が変わりました。まだまだ心配な事はありますが、やってみる（時代に合わせる）べきだとは思います。
- 小中一貫教育という話を聞いた時、初めは戸惑いがありました。でも、今日の講演会に来てみて、自分が感じていた部分が少し安心に変わる部分が出てきました。より良い小中になるなら教職員のみなさんも大変だと思いますが、よろしくお願いします。「自尊感情を向上させる」というお話はすごく胸を揺さぶられました。

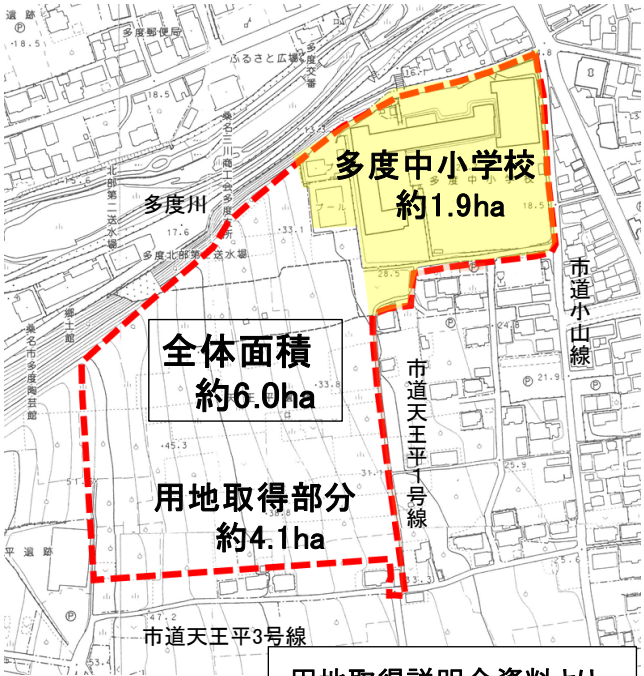
＊すべての感想は桑名市ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

桑名市ホームページ　：www.city.kuwana.lg.jp
ホーム→　市政→教育委員会→教育総合（計画・統計等）→多度地区小中一貫校地域協議会について

用地取得に向けた説明会を行いました

多度地区小中一貫校計画地にあたる多度中小学校南西部での現地調査結果をもとに、地権者の皆様を対象に 10 月 24 日・27 日の両日、用地取得に向けた説明会を開催いたしました。

市長挨拶の後、具体的な事業区域や土地・物件調査、補償、今後のスケジュールについてご説明させていただきました。今後、市では令和 3 年度内に用地取得を予定しており、個別に対応させていただくこととなります。



用地取得説明会資料より

【事務担当】桑名市教育委員会事務局　新たな学校づくり課　Ｔｅｌ：２４－１３５４